

「とちぎの共創型実践技術者」の育成



将来にわたり本県の工業を支えていける地域人材を育成するため、これまでの専門分野ごとの工業教育の知識・技能だけでなく、新しい価値を生み出せる思考プロセスを備えた、「とちぎの共創型実践技術者」を育成するための取組を実施し、その効果を検証する。



令和3年度の目標

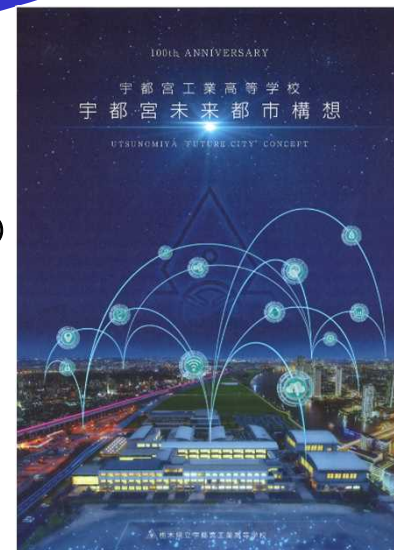
【育成を目指す資質・能力】

未知の状況にも対応できる
「思考力、判断力、表現力等」
の育成

- システム思考・デザイン思考能力の向上
- 技術経営(MOT)に関する知識の向上
- 知的財産に関する知識の向上
- M2Mに関する知識の向上
- リスクマネジメント対応能力の向上
- 技術英語活用能力の向上

取組状況

- ★システム思考・デザイン思考を活用した課題研究(宇都宮未来都市構想等)
- ★課題解決型インターンシップ



成果と課題

Society5.0時代の地域産業を支える技術者に必要な6つの「能力」や「知識」を講義や実習から育成した。新しいアイデアを生み出す思考法のワークショップやIoT実習により、生徒・教員は「知識・技能」を活用すれば、多種多様な課題を解決できることを体験した。今後の課題としてリスクマネジメントと技術経営の知識を「実践的・体験的な学習活動」に活用して、他者と協働し広い視野から工業に関する諸課題を発見、解決できる能力を育成し、学ぶ意欲を高める学習プログラムへの深化が必要である。